

平成19年度 建設部 改革マニフェスト 自己検証シート

1) 目標と成果

マニフェスト	項目名 (担当部署)	集中改革プラン項目	取り組み内容	区分	成果指標			活動指標			活動指標			自己評価
					H17	H18	H19	H17	H18	H19	H17	H18	H19	
1-	行政手続きの簡素化 (建設課)	47-1 47-2	国、県許可意見聴取事務に要する日数短縮の改革	指標名	河川占用に要する平均日数(本庁受付)			河川占用受付件数(本庁受付)						C
				指標の算式等										
				目標(A)		3日	2日			2件				
				実績(B)	4日	3日	2日		5件	2件				
				(A)と(B)の比較		0日	0日			0件				
				指標名	河川占用に要する平均日数(支所経由)			河川占用受付件数(支所受付)						B
				指標の算式等										
				目標(A)		7日	6日			17件				
		実績(B)	8日	7日	5日		33件	17件						
		(A)と(B)の比較		0日	1日			0件						
		指標名	特殊車両通行許可に要する平均日数(本庁受付)			特殊車両通行許可件数(本庁受付)						C		
		指標の算式等												
		目標(A)		3日	2日			3件						
		実績(B)	4日	3日	2日		4件	3件						
		(A)と(B)の比較		0日	0日			0件						
		指標名	特殊車両通行許可に要する平均日数(支所経由)			特殊車両通行許可件数(支所経由)						C		
指標の算式等														
目標(A)		7日	6日			88件								
実績(B)	8日	7日	6日		26件	48件								
(A)と(B)の比較		0日	0日			40件								
1-	行政手続きの簡素化 (建設課)	47-1 47-2	許可・認定事務に要する日数短縮の改革	指標名	道路占用に要する平均日数(本庁受付)			道路占用受付件数(本庁受付)						C
				指標の算式等										
				目標(A)		3日	2日			46件				
				実績(B)	4日	3日	2日		26件	104件				
				(A)と(B)の比較		0日	0日			58件				
				指標名	道路占用に要する平均日数(支所経由)			道路占用受付件数(支所受付)						C
				指標の算式等										
				目標(A)		7日	6日			246件				
		実績(B)	8日	7日	6日		267件	251件						
		(A)と(B)の比較		0日	0日			5件						
		指標名	準用河川占用に要する平均日数(本庁受付)			準用河川占用受付件数(本庁受付)						B		
		指標の算式等												
		目標(A)		5日	3日			1件						
		実績(B)	6日	5日	2日		1件	1件						
		(A)と(B)の比較		0日	1日			0件						
		指標名	公共物使用に要する平均日数(本庁受付)			公共物使用受付件数(本庁受付)						C		
指標の算式等														
目標(A)		5日	3日			8件								
実績(B)	6日	5日	3日		19件	9件								
(A)と(B)の比較		0日	0日			1件								

平成19年度 建設部 改革マニフェスト 自己検証シート

				指標名	公共物使用に要する平均日数(支所経由)			公共物使用受付件数(支所経由)			C		
				指標の算式等									
				目標(A)		10日	7日			62件			
				実績(B)	14日	10日	7日		98件	90件			
				(A)と(B)の比較		0日	0日			28件			
				指標名	道路施行承認に要する平均日数(本庁受付)			道路施行承認受付件数(本庁受付)				C	
				指標の算式等									
				目標(A)		7日	5日			8件			
				実績(B)	8日	7日	5日		8件	8件			
				(A)と(B)の比較		0日	0日			0件			
2	市営住宅使用料・収納率の向上(建設課)	4-3	市営住宅の適正かつ合理的な管理を行うため、使用料滞納者に対する夜間訪問徴収等及び新規滞納者の早期解消に努め、収納率の向上を図ります。	指標名	市営住宅使用料収納率			滞納者に対する夜間訪問徴収額		滞納者に対する夜間訪問件数		C	
				指標の算式等	収入額 / 調定額								
				目標(A)		92.0%	91.0%		8,000千円		550件		
				実績(B)	91.6%	89.0%	87.6%		4,400千円	7,000千円	350件		450件
				(A)と(B)の比較		3%	3.4%			1,000千円			100件
3	事務事業の見直し(建設課)	7-2 7-3	維持修繕処理日数の短縮	指標名	舗装等の修繕処理平均日数(10m程度、穴埋め等)			修繕処理件数			C		
				指標の算式等									
				目標(A)			2日以内			28件			
				実績(B)		3日	2日以内		25件	28件			
				(A)と(B)の比較			0日			0件			
				指標名	側溝・集水樹修繕処理平均日数(側溝5m程度、詰まり等)			側溝・集水樹修繕処理件数(側溝5m程度、詰まり等)			C		
		指標の算式等											
		目標(A)			3日以内			3件					
		実績(B)		4日	3日以内		2件	3件					
		(A)と(B)の比較			0日			0件					
		指標名	側溝蓋・グレーチング等の取り替え平均日数(1路線蓋10枚、グレーチング2枚程度)			側溝蓋・グレーチング等の取り替え件数(1路線蓋10枚、グレーチング2枚程度)			C				
		指標の算式等											
目標(A)			2日以内			5件							
実績(B)		3日	2日以内		4件	5件							
(A)と(B)の比較			0日			0件							
4-	水道使用料徴収率の向上(水道課)	12-3	水道会計の経営健全化に資するため、使用料長期滞納者に対する夜間訪問徴収等及び新規滞納者の早期解消に努め、徴収率の向上を図ります。	指標名	水道使用料徴収率(水道事業会計)			督促状発行枚数		催告書発行枚数		C	
				指標の算式等	収入額 / 調定額			システム統一後の発行枚数		システム統一後の発行枚数			
				目標(A)		98.0%	98.0%						
				実績(B)	96.7%	96.9%	97.0%		9,373枚		15,923枚		
				(A)と(B)の比較		1.1%	1.0%						
4-	水道使用料徴収率の向上(水道課)	12-3	水道会計の経営健全化に資するため、使用料長期滞納者に対する夜間訪問徴収等及び新規滞納者の早期解消に努め、徴収率の向上を図ります。	指標名	水道使用料徴収率(簡易水道特別会計)			督促状発行枚数		催告書発行枚数		C	
				指標の算式等	収入額 / 調定額			システム統一後の発行枚数		システム統一後の発行枚数			
				目標(A)		99.5%	99.9%						
				実績(B)	99.4%	99.6%	99.7%		1,570枚		1,230枚		
				(A)と(B)の比較		0.1%	0.2%						
5	水道料金の統一(水道課)	5-1	各地区により違う水道料金の統一(平成19年9月から給水人口の約7割分)にあたり、水道事業会計長期経営計画(目標:平成20年度中に策定)を立て、適正な水道料金を設定し簡易水道と合わせて平成28年度に完全統一を目指します。また、9月からの一部統一にあたっては、広報紙や戸別配布をするなど、市民に充分周知します。	指標名	水道料金統一達成率(上水道及び簡易水道)			水道料金統一にあたり周知した各戸、回覧及び広報紙等の回数			B		
				指標の算式等				チラシ全戸配布、回覧各1回ずつお知らせ版5~10月号					
				目標(A)			71.14%			8回			
				実績(B)		0.00%	71.1%			8回			
				(A)と(B)の比較			0.04%			0回			

平成19年度 建設部 改革マニフェスト 自己検証シート

6	下水道計画の見直し (下水道課)	12-1	健全な財政運営、効率的な整備及び下水道普及率向上を図るため、昨年度に引き続き、関係各課による検討委員会等を開催し、事業計画の規模(実施区域・事業費)や方法(集合・個別)等を見直します。	指標名	下水道普及率		下水道事業計画区域見直し			C	
				指標の算式等	処理人口/行政人口						
				目標(A)		49.4%		200.8 ha			
				実績(B)	48.1%	49.4%	449.6 ha	0ha			
				(A)と(B)の比較		0.0%		200.8 ha			
7-	下水道水洗化率及び使用料収納率の向上 (下水道課)	4-3 14-2	下水道特別会計の経営健全化に資するため、各家庭訪問等により既下水道整備地区内の早期接続促進を図り水洗化率の向上を図るとともに、使用料滞納者に対する夜間訪問徴収等や新規滞納者の早期解消等に努め、収納率の向上を図ります。 水洗化率	指標名	水洗化率		下水道整備地区の早期接続に向けて戸別訪問及び文書依頼			C	
				指標の算式等	水洗化人口/処理人口						
				目標(A)		52.4%		450 件			
				実績(B)	51.1%	52.4%		455 件			
				(A)と(B)の比較		0.0%		5 件			
7-	下水道水洗化率及び使用料収納率の向上 (下水道課)	4-3 14-2	使用料	指標名	下水道使用料徴収率		督促状発行枚数(水道課数値)			C	
				指標の算式等	収入額/調定額						
				目標(A)	98.5%	98.5%					
				実績(B)	98.3%	95.4%					
				(A)と(B)の比較	0.2%	3.1%					
8	生活排水の垂れ流し対策 (下水道課)	23-3	約16,900世帯における生活排水が未処理のまま水田や小川に、また地下浸透により地下水に流れ出ている現状です。「美しい島 佐渡」、「トキの野生復帰」にむけ生活・営業排水の下水道への接続、合併浄化槽の普及促進を図ります。	指標名	合併浄化槽新規設置世帯数		合併浄化槽総設置世帯数			D	
				指標の算式等	世帯数						
				目標(A)		110 世帯		2,102 世帯			
				実績(B)	102 世帯	83 世帯	1,992 世帯	2,311 世帯			
				(A)と(B)の比較		27 世帯		209 世帯			
				指標名	公共下水道新規接続世帯数		説明会回数			D	
				指標の算式等	世帯数		事業・工事・工事店説明				
				目標(A)		820 世帯		28 回			
				実績(B)	743 世帯	472 世帯		25 回			
				(A)と(B)の比較		348 世帯		3回			
				指標名	集落排水新規接続世帯数		説明会回数			C	
				指標の算式等	世帯数		事業・工事説明会				
				目標(A)		10 世帯		2回			
				実績(B)	19 世帯	9 世帯		2 回			
(A)と(B)の比較		1 世帯		0							

2) 取組過程と取組み後の対応

区分	チェック項目	自己評価	自己評価について(所見)
取組過程	取り組みの段階において市民への説明やPRを十分に行ったか。また市民からの質問に対応する方法や体制が確立されていたか。	C	【建設課】C 1-、1- :申請時に日数を示しています。 2:新規滞納への即時対応と定期的な夜間徴収を実施しています。 3:早急なる修繕に努めています。 【下水道課】D 水洗化率の向上が下水道整備において一番重要という観点から事業及び工事説明会また接続の促進のため個別訪問や文書配布により下水道事業の啓蒙につとめた、住民の環境や事業に対する理解を十分に得ることができなかった。 【水道課】B 水道料金の統一に対し、「お客様対応マニュアル」及び「市民PR」等の対策課内会議を行い、統一したマニュアルを作成し住民説明を行い理解されたと思います。
	目標達成に向けた部局内の体制は効果に対し相応な対応であり、かつ万全であったか。(過剰な活動や予算、人員による取組みがなかったか。)	C	【建設課】C 1-、1- :事務処理の迅速化に努めました。 2:夜間徴収については、この取り組みを続け、納付への意識向上に努めます。 3:本庁、支所の連携のもと早期対応に努めました。 【下水道課】C 担当職員の共通した理解が一番と本庁担当課・支所担当課で会議を開催し普及促進の問題点を把握し地域ごとに目標を設定し取り組んだ。 【水道課】B 本庁担当課、支所担当課で合同会議を開催し、対応しました。
	部局長のリーダーシップのもと、目標達成に向けた所管職員の意識啓蒙や部局内の風土づくりが行われたか。	C	【建設課】C 朝礼の実施により、課内全職員に一定の意識啓蒙を図りました。 【下水道課】C 市職員及び関係業者等にも下水道の意義を強調し推進に努めた。 【水道課】B 市職員及び給水工事指定店に対し統一料金の意義を説明、理解を得ました。

平成19年度 建設部 改革マニフェスト 自己検証シート

	所管職員が佐渡市行政改革マニフェストの趣旨と内容を十分に理解し、目標の達成に向けて精力的に取り組んでいたか。	C	【建設課】C 課内全職員に窓口事務の対応を周知し、担当不在でも適切な対応ができるよ努めています。 【下水道課】C 取り組んだ。 【水道課】C 取り組んだ。
	目標達成のための行程管理や関係機関等との調整が適切に行われていたか。	C	【建設課】C 本庁・支所間或いは上部機関との連携を密にし、迅速かつ正確な事務処理ができるよう努めています。 【下水道課】C 環境問題という点で佐渡市全体の取り組みが必要だった。 【水道課】B 大口径 25以上の利用者等には、チラシ等を個別に配布し理解を頂きました。
取組み後の対応	目標の達成に対する効果(アウトカム)の把握、または把握することの手立てをしたか。	C	【建設課】B 行革理念と方針に沿った取り組みにより、概ね達成することができました。 【下水道課】C 年度途中で実績を確認し目標の達成に努力する。 【水道課】C 取り組んでいる。
	目標を達成していない項目については、具体的な改善策を計画し、または他の手段により対応したか。	D	【建設課】C 夜間徴収については、他課の徴収担当との連携を密にして収納率向上に向けて励みます。 【下水道課】D 推進について助成等の方法について制度の充実について検討したい。 【水道課】D 今後検討したい。
	実績と今後の対応について市民に説明を行ったか。	E	【建設課】E 実施してない。 【下水道課】D 事業、工事説明会・排水設備工事店の会議にて説明した。 【水道課】E 実施してない。
	取り組みの過程と実績、課題点などについて部局内で話し合わせ、所管職員が状況を理解しているか。	C	【建設課】B 担当係から課内全職員へ事務内容等を説明する場を設け、職員の意識改革に努めました。 【下水道課】C 理解している 【水道課】B 理解している。
	実績に対する市民の質問や要望に対応する方法を確立したか。	D	【建設課】D 確立するよう準備中である。 【下水道課】D 受益者負担金・分担金、使用料、排水設備工事等について種々要望があり今後検討を要する。 【水道課】B 市民の質問に対し「統一マニュアル」作成済みである。

3) 総評

今年度の取組みに対する部局長のコメント	
<p>全体としては一定の成果をあげることができたと思っている。しかし、特に下水道事業に対する市民の十分な理解が浸透されてないこともあり、接続率が低く下水道事業の運営に支障をきたしている。今後重点的に普及促進を図る必要がある。</p>	
<p>【良かった点】 水道加入戸数の70%において、料金の統一ができたこと。</p>	
<p>【悪かった点】 実績と今後の対応について市民に十分説明することができなかった。</p>	